

岡山城東高校の入学者選抜には次の3種類があります

- 特別入学者選抜 海外帰国生徒のための入学者選抜 一般入学者選抜

特別入学者選抜について

(1) 日程

- ① 出願の期間 平成27年1月30日(金)～2月3日(火)
- ② 学力検査 平成27年2月12日(木)
- ③ 面接・実技 平成27年2月12日(木)・13日(金) [面接は日本語による個人面接]
- ④ 選抜結果の通知 平成27年2月20日(金)
- ⑤ 合格者の発表 平成27年3月20日(金)

(2) 選抜の方針

中学校等の校長から提出される調査書、学力検査・面接・実技の結果及び自己申告書等を資料として、目的意識や適性等を重視し、分野の特色を配慮して総合的に判断する。

(3) 募集人員

- 普通科国際教養分野 30名 (入学後、2年生から必ず国際教養学類に所属)
- 普通科音楽分野 25名 (入学後、2年生から必ず音楽学類に所属)

(4) 学力検査について

国語、数学、英語で実施する。なお、英語は聞き取り検査を含む。

(5) 実技の内容

[普通科国際教養分野]

英語を聞く・話す・読む・書くの4つの技能を活用して、英語のリスニング・英語による質疑応答などの課題に取り組む。

[普通科音楽分野]

- ① 新曲視唱
 - ・中学校で学習する程度の演奏記号(強弱記号など)を含む、20小節程度の新曲課題。
 - ・調号は#、b 2つまでとし、長・短両調の中から出題する。
 - ・階名(ドレミ)で歌う。移動ド、固定ド唱法のどちらでもよい。
- ② 声楽又は任意の楽器で5分以内の演奏(ただし、ピアノの場合はバロック、古典・ロマン派のピアノ作品の中から任意の曲を演奏する(緩徐楽章は除く))。
 - ・演奏は必ずしも曲の初めから行う必要はない。
 - ・ピアノ以外の楽器は各自で持参するか業者に搬入してもらう。

(6) その他

- ① 普通科国際教養分野において、学力検査の結果が一定以上にあれば、「英語検定2級以上合格又はこれに相当する英語の実績」を重視して5名程度を選抜する。
- ② 選抜の結果、合格内定とならなかった者は、改めて一般入学者選抜に出願することができる。

□ 海外帰国生徒のための入学者選抜について

(1) 日程

- ① 出願の期間 平成 27 年 1 月 30 日(金)～2 月 3 日(火)
- ② 面接・口頭試問 平成 27 年 2 月 12 日(木)
- ③ 選抜結果の通知 平成 27 年 2 月 20 日(金)
- ④ 合格者の発表 平成 27 年 3 月 20 日(金)

(2) 出願資格

- ① 原則として、外国における在住期間が継続して 2 年以上で帰国後 2 年以内であること。
- ② 保護者が県内に居住しているか、平成 27 年 4 月 7 日までに県内に居住予定であること。保護者が引き続き外国に居住する場合は、県内に保護者に代わる身元引受人が居住していること。

(3) 選抜の方針

中学校等の校長から提出される調査書、面接・口頭試問の結果及び自己申告書等を資料として、外国での学習や経験を適切に評価するよう配慮し、総合的に判断する。

(4) 募集人員 若干名（入学後、2 年次から四学類いずれに進むことも可能）

(5) 面接

能力や適性等を把握するため面接を実施する。必要に応じて簡単な口頭試問（英会話を含む）を行うことがある。また、聞き取り検査や作文等の適性検査を実施することがある。

□ 一般入学者選抜について

(1) 日程

- ① 出願の期間 平成 27 年 2 月 25 日(水)～2 月 27 日(金)
- ② 出願変更の期間 平成 27 年 3 月 3 日(火)～3 月 5 日(木)
- ③ 学力検査 平成 27 年 3 月 12 日(木)
- ④ 面接 平成 27 年 3 月 13 日(金)
- ⑤ 合格者の発表 平成 27 年 3 月 20 日(金)

(2) 選抜の方針

中学校等の校長から提出される調査書、学力検査・面接の結果及び自己申告書等を資料として、高等学校の特色を配慮して総合的に判断する。

(3) 募集人員

募集定員から特別入学者選抜及び海外帰国生徒のための入学者選抜の合格者数を引いた人数。
(入学後、2 年次から四学類いずれに進むことも可能)

(4) 学力検査について

国語、社会、数学、理科、英語で実施する。なお、英語は聞き取り検査を含む。

(5) 調査書及び面接等の結果を重視する選抜について

学力検査の結果が一定以上にあれば、調査書及び面接等の次の事項を重視して、募集定員の 5% の人数の選抜を行う。

- ・部活動を含む、校内外における文化的・体育的な活動及びボランティア活動の実績。
- ・海外体験など国際的な活動の実績。

(注) 調査書の記載に「個人の具体的な実績」が明記されていないと対象にならない場合がある。

調査書の記入例：レギュラーで 4 番サードだった。／金管楽器のパートリーダーであった。